

「浅口市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）」

骨子案

令和6（2024）年8月

目 次

I 「浅口市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）」について

策定趣旨	1
位置付け	1
計画期間	1

II 目指す将来像

地域ビジョン	2
--------	---

III デジタル田園都市構想実現のための対策

浅口市の強み	2
基本的視点	3

IV 総合戦略

総合戦略の全体像	4
1 浅口市における安定した雇用を創出する	5
就業の場の拡大	5
産業の振興と生産性の向上	6
2 浅口市への新しいひとの流れをつくる	7
移住・定住の促進	7
観光の振興と交流の拡大	8
3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	9
結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	9
子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた学力向上	9
4 時代に合った地域をつくり、安心・安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	10
持続的・自立的な地域の形成	10

I 「浅口市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）」について

策定趣旨

浅口市では、平成 27 年 10 月に第 1 期、令和元年度に第 2 期の「浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、様々な施策や事業を展開して「まち・ひと・しごと創生」を一体的に推進してきました。

そうした中、国は地方創生の取組にデジタルの力を活用して加速化・深化させ、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すため、令和 4（2022）年 12 月に第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020 改訂版）」を抜本的に改定し、令和 5（2023）年度を初年度とする「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

「浅口市人口ビジョン（令和 7（2025）年 3 月改訂版）（仮称）」で示したように、2060 年の人口は●●●●年の▲▲▲▲▲人から▼▼▼▼▼人程度にまで減少することが見込まれ、少子高齢化を背景とする人口構造の変化や人口減少は、浅口市における経済活動やコミュニティ活動等の活力を衰退させ、ひいては浅口市における安定した生活・暮らしそのものの存立を脅かす事態となることが危惧されます。

このような状況認識のもと、国・県の総合戦略を勘案しながら、デジタル技術を活用して地域課題を克服し、地域の個性を発揮して活性化を加速させるため、今後、浅口市が目指す地域ビジョンを設定し、「浅口市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）」を策定します。

位置付け

○「浅口市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）」は、国の「デジタル田園都市構想総合戦略」及び県の「第 3 期おかやま創生総合戦略（仮称）」を勘定しつつ、平成 28 年度に策定した、浅口市の最上位計画である「第 2 次浅口市総合計画」との整合を図るものとします。

○「浅口市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）」は、「浅口市人口ビジョン（令和 7（2025）年 3 月改訂版）（仮称）」で示した目標人口（戦略人口）を達成するために必要な 4 つの政策分野ごとの基本目標を示すものです。また、各政策分野を構成する施策については、効果を客観的に検証するための K P I（重要業績評価指標）を設定しています。

※ K P I : Key Performance Indicator の略

計画期間

令和 7（2025）年度から令和 11（2029）年度までの 5 年間とします。

Ⅱ 目指す将来像

地域ビジョン

第2次浅口市総合計画では「キラリと光る未来そうぞうワクワク都市」を将来像に掲げ、市民・事業者・市がともに力を合わせて、浅口市への愛着や誇りを抱きつつ、安全・安心にいきいきと笑顔で過ごしていけることを実感できるまちを目指しています。

「浅口市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）」においては、第2次浅口市総合計画の将来像を踏襲しつつ、デジタルの力を生かしてさらに発展させていくために、「デジタルの力を生かして 笑顔あふれる 安心のまち浅口」を地域ビジョンに掲げ、その実現を目指していきます。

Ⅲ デジタル田園都市構想実現のための対策

浅口市の強み

【自然豊かでコンパクトなまち】

瀬戸内海の温暖な気候と豊かな自然、そこで暮らす思いやり溢れる人々が浅口市の魅力の基盤となっています。



【アジア最大の天文台のあるまち】

約60年の歴史を有する国立天文台ハワイ観測所岡山分室や、新たに建設された東アジア最大口径の3.8m望遠鏡を備えた天文台に加え、日本で最も晴れの日が多い「日本一晴れの国」という地勢的な利点を持つ浅口市は、「天文のまち」です。



【豊富な特産物のあるまち】

金光町の植木、鴨方町の手延べ麺、寄島町の手延べうどんをはじめ、浅口市には魅力的な特産物が豊富にあり、観光資源としても重要な役割を果たしています。



【安心・安全なまち】

気候が穏やかで自然災害が少ないことに加え、防災・防犯への市を挙げた取組により、安心・安全なまちを実現しています。



【交通の利便性が高いまち】

近隣中核都市である岡山市・倉敷市・福山市に近く、山陽自動車道の鴨方ICや国道2号、山陽新幹線の停車駅である新倉敷駅まで一駅の金光駅と橋上駅舎の鴨方駅があり、交通の利便性が高い郊外都市として位置付けられています。

基本的視点

浅口市人口ビジョン（令和7（2025）年3月改訂版）に掲げる浅口市の将来像を実現し、持続可能な地域づくりを推進するため、総合戦略全体に及ぶ基本的な考え方を以下に示します。

①積極的かつ効果的な情報発信と市民との情報共有

市民と行政が将来像を共有し、目標に向かって共に歩んでいくため、市民に対して行政情報を的確に伝えるとともに、市の魅力等を積極的に内外に発信し、市民としての誇りや一体感の醸成、市の知名度アップを図ります。

情報の発信に当たっては、行政の広報媒体だけでなく、マスメディア・インターネット等、目的やその情報を必要とする相手によって最適な媒体を選択し、効果的に情報を届けるとともに、サービスを享受する市民等の声に耳を傾け、政策・施策に反映させます。

②デジタルの活用

地域が抱える課題克服に向け、早急な対応、効率的な運営を行うためにデジタルの力を有効活用します。

③多様な主体との連携・協働

時代の変化に対応し、持続可能な地域社会を実現するため、市民・地域・団体・企業・行政等の多様な主体が適切なパートナーシップを築き、互いの特性を活かして連携・協力する創造性豊かな協働のまちづくりを推進し、効果的な地域課題の解決を図ります。

④地方創生を担う人材の育成

子どもたちに対し、独自のプログラムにより、バランスのとれた学力に加え、「ふるさと」に対する誇りや健やかな精神の醸成を図り、未来を担う人材を育成します。

また、地域の活力を維持・向上し、地域におけるまちづくりの機運を高め、市民が必要とする支援を適切に行えるように、市職員の意識改革・資質向上を図ります。

⑤不断の行政経営改革

人口減少が危惧される中、限られた人材や財源で、未来を見据えた市の発展、市民の幸せを実現していくため、デジタル技術を活用して、行政の効率化・財政の健全化等、将来にわたり不断の行政経営改革に取り組み、市民の満足度を高めていきます。

⑥マネジメントシステム（PDCA※サイクル）による進捗管理

総合戦略をより実効性のあるものとするため、進捗状況を評価・検証するための「PDCAサイクル」を確立します。評価・検証は、庁内組織のほか、妥当性を確保するため、外部有識者や市民代表が参画する検討組織等において行い、必要に応じて施策の追加・見直し及び総合戦略の改定を行います。

※PDCA：Plan（計画） - Do（実行） - Check（評価） - Act（改善）の略

IV 総合戦略

総合戦略の全体像

基本目標（数値指標：令和 11 年度）	施策の枠組み	具体的な施策
<u>1. 浅口市における安定した雇用と仕事を創出する</u> ◇	(1) 就業の場の拡大	
	(2) 産業の振興と生産性の向上	
<u>2. 浅口市への新しい人の流れをつくる</u> ◇	(1) 移住・定住の促進	
	(2) 観光の振興と交流の拡大	
<u>3. 結婚・妊娠・出産の希望をかなえ、子どもをまんやかに子育てする</u> ◇	(1) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	
	(2) 子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた学力向上	
<u>4. 時代に合った地域をつくり、安心・安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</u> ◇	(1) 持続的・自立的な地域の形成	

1. 浅口市における安定した雇用と仕事を創出する

〔施策の基本的方向〕

○倉敷市や福山市に近接している地理的好条件を最大限活かしつつ、産官学金学連携のもと、商工業のイノベーション促進や創業・起業の支援を行い、地域の活性化と同時に、新たな雇用の創出を図ります。

○農業・漁業分野においても、製品のブランド化、6次産業化*と担い手の育成を推進し、「儲かる農業」「儲かる漁業」の実現・拡大を図ります。

○工業団地の整備を進め、新規企業の誘致により基盤産業の拡大と雇用創出を図ります。

○産業全体の拡大・活性化を通じて、女性や高齢者がいきいきと活躍できる雇用環境の充実を図ります。

※6次産業化：農業や水産業等の第1次産業が食品加工・流通販売等の業務展開を行うこと

施策の枠組み 1	就業の場の拡大
----------	---------

就業の場の拡大

〔具体的な施策〕



◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)
		)

＜主な取組＞



〔具体的な施策〕

●●●●●●

[illegible]

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)

＜主な取組＞

• ●●●●●●●●●●●●

● ● ● ● ● ● ●

〔施策の基本的方向〕

○市民が「住みよさ」を実感できるまちづくりを進めるとともに、まちへの誇りを持てる学習活動を推進し、雇用の確保と併せて市民の転出を抑制し、浅口市出身者の還流を図ります。

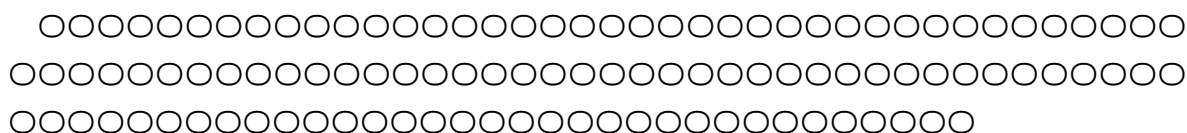
○住環境・子育て環境の整備による移住・定住促進策を展開し、浅口市が持つ数々の強みと合わせた総合力で転入を促進し、近隣都市に就業している若い世代に選ばれるまちをめざします。

○観光資源の発掘・ブラッシュアップや民間事業者との連携・融合、近隣との周遊性の向上を図るとともに、大都市圏への戦略的 PR を実施し、更なる交流・関係人口の増加を図ります。

施策の枠組み 1

移住・定住の促進

〔具体的な施策〕



◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)

＜主な取組＞

- ● ● ● ● ● ●

- ●●●●●●●●●●**

- ●●●●●●●●●●**

- ● ● ● ● ● ●

